

(4×4) 次モンドリアンパターンMP系としての、コンタパターンCP系

4N-4

横田 誠 武子 政信 齊藤 浩徳
電 気 通 信 大 学

1. ま え が き

人間が外界をボタンとして、とらえるのに近似した機能をもった、人工的システムを考えている。その人工的システムは、線路の回路接続系であるという立場から、その入出力系は、線路系であるということにしている。この線路系の内に、問題空間の特性ボタン線路系がある。このボタン系の基本型系として、基礎抽象画系であるモンドリアンパターンMP系を考えている。MP系の基礎部分パターン系として、(2×2) 次のボタン系である、モンドリアンベーシックMB系がある。全てのMP系は、このMB系の接続である。今回は、全てのMB系を用いた(3×3) 次のMP系について報告した。今回は(4×4) 次のMP系の中の、全MB系の部分系であるコンタベーシックCB系のみによるボタン系について考えた。

2. MP系としての分子ボタンと原子ボタン

感受性を持ったシステムへの入力系としての、呈味系が、広くは、いくら規模的に十分に大で、複雑である系があっても、最終的には、素粒子的な系の連鎖系の問題に、つながる。

平面的ボタン系に限ると、それは絵画系の基礎系としての、MP系として、それが、感受、創出系にとって、どのような意味を持つかの問題系となる。地図、回路図のような案内図的系として、表情とか、マンダラのようなシステムの目的的な絵画系としての、等の機能体系が、呈味系として機能する系、その基礎系として、分子的ボタンを考える。

MP系の素粒子的ボタン系は、(2×2) 次の系である。この系はモンドリアンベーシック：MBと呼ばれ、図1に示される。

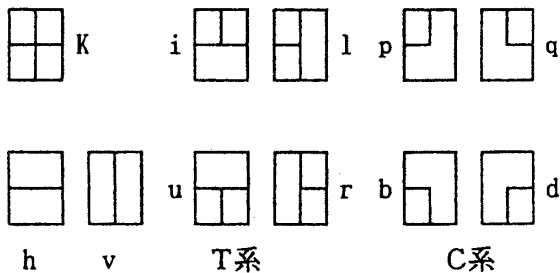


図1. MB系

先に、(3×3) 次のMP系の、成分MBの組セットについて報告したが、これは、むしろ、特殊なネットワークポロジカル系として、木のボタン、補木のボタンの組ボタン系として、相補的分子ボタンの結合系という見方を重点にしたものであった。(n×n) 次のMP系は、組み合わせ問題系として、nの少しの増大で、複雑さの規模が爆発的に拡大する。そこで、これ等の問題系の基礎系としては、nの値を如何にするかがある。今回は、とりあえず、(4×4) 次のMP系、特に、その内のコンタボタン：CP系に限って、原子的ボタン、そして、その組み合わせ系としての、分子的ボタン系について考えることにする。

3. (4×4) 次モンドリアンパターンMP系としての、コンタパターンCP系

図2は、(4×4) 次のCP系を全て示したもので、CP系の故に、最密の線素数は12である。又、原子ボタン系では、その最密の線素数は8であり、全体で9個の系である。線素数4から12迄の範囲の系内に、種々の分子ボタン系が示されているが、原子ボタンの種類、数の等しいものの組は1つとし、わきに、その数を付記した。なお、図1の素粒子的ボタンであるMB系の内、水平、垂直、対角のh、v系を付加しても全体として、CP系となる為、その広義の分子ボタン系を、部分的ながら付記した。これ等の系に関する、平面的インシデンシー特性については、次の機会に吟味する。

4. む す び

今回のような、規模(n=4)のMP系に至って、CP系に限ったが、その原子的ボタン系と、又その平面的結合系としての分子的ボタン系の様相が、分類系として、とらえ易くなった。今後、彩色等による、ボタンの意味的解析に進める。

[文 献]

- 1)横田 誠, 他:"モンドリアンパターンMP系としての、モロンボタンについて"報通信学会秋大会, 1996, 9,
- 2)横田 誠, 他:"レプタイル系としての、MP系電子情報通信学会秋大会, 1996, 9,
- 3)横田 誠:"リフレクティブ"応用数理学会, 1995, 9,

On the Contour Patterns Systems as the (4×4) Mondorian-Patterns MP Systems

Makoto YOKOTA, Masanobu TAKESI, Hironori SAITO, The University of Electro-Communications

C-MP (4x4)































































































枝数	個数	原子パターン	分子パターン	広義パターン	枝数	個数
0	0				24	0
1	0				23	0
2	<u>1</u>				22	0
3	<u>1</u>			 h1	21	0
4	4 <u>2</u>	 	 2	 h2	20	0
5	4 <u>0</u>		 4	   	19	0
6	11 <u>2</u>	 	 2  2  4	   	18	0
7	9 <u>2</u>	 	 2  2  3		17	0
8	18 <u>1</u>		 2  2    	   	16	0
9	15	      	 2  2  4  2  2  2  4	15	0	
10	17	       	 2  2      	14	0	
11	8	    	 2  3  	   	13	0
12	12	    	 2        	12	12	

図2. コンタパターン, C-MP (4x4)